

<事務局>
NPO法人病気の子ども支援ネット
遊びのボランティア
〒162-0056
新宿区若松町10-1YSビル302号室
Tel&fax 03-6380-3115



いたいのいたいの 飛んでけ通信

ガラガラドン サマーヴァケーション 2011

Garagaradon Summer Vacation 2011



一碧湖であひると遊ぶ

夏休みだ。わ～い！！ (\$・・)/~~ 「みんなとアンダリゾート別邸伊豆一碧湖ホテルへ」 2011年7月24日(日)～25日(月)
招待を受けたのは7家族19人。「がんばれ！子供村」からのお誘いで今年2度目。「入院している子どもをホテル企業が応援」するというものです。食べて、飲んで、泳いで、遊んで、大騒ぎ。ボランティアも4人が参加しました。

■最高のご褒美 伊藤 母
今回も一泊二日の素敵な旅行に招待していただきましてありがとうございます。昨年同様、行ききの電車からワイワイガヤガヤ、途中からボランティアさんたちとも合流し、本当に楽しんでおりました。
この旅行は娘にとって、とても大切なものです。子供たちはそれぞれの病と闘い、つらい思いをしてきた分、最高のご褒美だと思えます。またそんな生活の中で出会えた友達と時間を気にせず、心おきなく過ごせる貴重な時間です。個々人でこのような旅行を計画するのは無理です。やはりボランティアさん達が企画してくださる、援助してくださるホテル様のご厚意があるってことだと思えます。そして久しぶりに会う子供たちの笑顔を見て「あーこんなに大きくなったんだなあ」とか「元気に頑張っているんだ」と私たち親子の励みになります。
また、このたびも食事制限のある娘に塩分を調整した食事を提供していただき、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

■苦しみを忘れてしまおうほど嬉しい 辰憲の母
ご招待いただきましてありがとうございます。私も子供たちと一緒に楽しい時間を過ごさせていただけました。私の家は自営業のため遠出することもなく、今まで旅行なんてこともありませんでした。まして一年前息子は病院のベッドの上にいましたので、旅行なんて考えられない状況ではありませんでした。そんな息子さんが今年、皆さんと一緒にゲームやカラオケなど満面の笑みを浮かべながらはしゃいでいる姿を見ると、一年前の苦しみを忘れてしまおうほど嬉しくなりました。
また兄弟たちも一年前はとても淋しい思いをさせていたと思いますが、こうして元気に一緒に過ごすことができるようになり、本当に良かったと心から思いました。まだまだ通院は続きますが、楽しかった思い出を糧に子供たちとがんばっていききたいと思えます。

■とても楽しかったです。ご飯も美味しかったです。また来年も遊びに来たいです。ありがとうございます。(小4)カズハ
二日間の楽しい時間をありがとうございました。初めてのわだしの楽しいお風呂が今回初めてです。初めてなのになさくすくお風呂に入りました。初めは少し怖かったですが、夜ごはんのごはんがとってもおいしかったです。カラオケがすごく楽しかったです。また来年もさそってください。(小4)桃子
伊豆に行ったのは、初めてだったけどみんなに会えてうれしかったです。カラオケしたりさんぼしたり楽しいことだらけでした。ごはんもおいしくてたくさん食べました。また行きたいです。(小6)辰憲
カラオケが楽しかったです。また行きたいです。(小3)駿磨

リラックス・お部屋にマッサージ機

おっけい海老フライ！ごちそうにっこり

みんなで大貧民 夜中の12時に

森の中で「勝ってうれしい花いちもんめ♪」



■誕生日を祝ってくれてありがとう 倅平(21歳)
昨年引き続き、今回もまた御招待していただきまして。色々話したり、遊んだりする事ができ、とても楽しかったです。それにまた僕の誕生日が重なって、今年もみなさんに祝ってもらえて幸せでした。また来年も皆で行けたらいいなと思っています。ホテルの皆さま、ありがとうございました。ボランティアさん達が、帰りの電車でお疲れ様でした。ボランティアさん達は納得できます。これはボランティアさんあっての旅行だと思いました！本当にお疲れ様でした。ありがとうございます。坂上さん、岡部さん、川波さん、篠田さんありがとうございました。本当に有難うございます。

■苦しみ、苦勞がふきとんだ カズハの父
去年に続き、二度目の招待旅行でしたが、子供は今回も行く前から楽しみにしていました。入院生活を共にしていた同じ病気の友達と、2日間ずっと一緒に騒いで、また良い思い出が増えて、大変感謝しています。病気がなくなって、長い闘病生活をしないと解らない辛さや苦しみ、苦勞が、この招待旅行によって、吹き飛んだ感じがします。このまま病気が完治してくれれば、と思っています。楽しい時間、場を提供していただき、本当に有り難うございました。来年も招待旅行を夢見て、子供は頑張っています。

■年に一度の貴重な時間 あや(小6)の母
昨年に続き二回目の参加ですが、今年も大変お世話になりました！昨年以上に娘共々楽しい時間を過ごすことが出来ました！！お食事もお大変美味しく頂きました！一緒にお世話になりました。お友達と遊ぶのは月に一回、病院の外へ出かけるだけでも、なかなかゆつくり遊ぶ機会がないのですが、今回も行ききの電車から帰るまでまるまる1日半思う存分遊べることが出来ました。年に一回の貴重な時間を頂きました！夏休みの良い思い出がまた一つ増えました。また来年も参加出来ればなどと図々しく思っております！本当にありがとうございます！！私には手紙とか文章を書くのが苦手で短くてすみません。

■いろいろな方々に支えられて生きていくと実感 卓斗(6歳) 風斗(4歳)のパパとママ
昨年引き続き、家族4人で参加させていただきました。2歳9カ月の時に急性リンパ性白血病を発病した息子も無事に小学校に入学し、初めての夏休みを迎えました。今では通院・検査も2カ月に1度になり、入院時にお世話になっていたボランティアさん達とも会う機会がなく、寂しく思っていた時に今回のような「招待を頂き、本当に嬉しかったです。子供達も久しぶりに会う友達に会えてとても喜んでいました。入院中は毎日とても大変でしたが、退院してしまおうと入院中に仲良くしていた方々とも会う機会がなくなり、何となく疎遠になってしまいました。1年に1度でもみんなで集まれる機会があると、お互いの近況を知ることができ、「元気に帰って来ると、お互いの近況を知ることができ、「元気に帰って来ると、お互いの近況を知ることができ、「元気に帰って来ると、お互いの近況を知ることができ、」と笑って語り合う事ができるのは、本当に素晴らしいと思います。今現在、闘病中に子供はもう必要だと思いません。色々な方達にもまだサポートが必要だと思いません。色々な方達に支えられて生きていくんだと改めて実感しました。感謝の気持ちでいっぱい입니다。本当にありがとうございます。



「客の少ない時期に利用していただければ…、それにこんなに感謝されたらこちらも嬉しいです」とがんばれこども村。NPOは企業と患者家族をつなぎます。患者家族の声を家族と一緒に社会に発信します。